

あなたに伝えたい 小学生だった私が体験した 東日本大震災

---3.11 その日、小学生だった彼女たちは何を体験したのでしょうか。
女性や子どもという立場から、どう受け止め、乗り越え、どのような道に向かっ
て歩みだしたのかを知ることで、私たちひとりひとりの未来を考えます---

～いまの私にできること～

日 時

9 月 28 日 (土) 13:30～15:30 (開場 13:15)

- ・ 講演 (東日本大震災当日とその後の体験談 および 減災 & 復興に必要な視点など)
- ・ 意見交換会 (コーディネーター おだわら子ども防災代表みのわ)

場 所

川東タウンセンター マロニエ集会室 301

〒250-0872 小田原市中里 273-6

参加費

無料

定 員

80 名

託児は設けておりません。お子さん同伴で
ご参加いただけます。ご参加のみなさまの
ご理解と、保護者の方の責任ある見守りで
避難所同様に思いやりある空間づくりに
ご協力お願いいたします。

申込み

おだわら子ども防災

メール: okb@goo.jp (担当:みのわ) 電話: 090-6259-5000 (担当:ほり)

- お名前、電話番号、参加人数 (小学生以下の子どもは年齢も) をお知らせください
- メールの場合、受信後 2 日以内に受付完了のご案内を返信します。受信拒否解除・迷惑メール欄
のご確認をお願いします。受付完了メールが届かない場合はお電話にてお問合せ下さい。

語り部

東松島市学生震災ガイド T T T

2015 年 5 月に宮城県東松島市で活動を開始した、高校生・大学生による自主ボランティア
ガイドグループ。グループ名は TSUNAGU Teenager Tourguide の頭文字が由来。

「被災というマイナスの体験を、伝えることでプラスにしたい」という
思いで、活動開始から現在まで 60 回以上の現地ガイドや出張講演を
実施している。昨年 8 月には安倍総理とも対面し、語り部としての
活動を伝えた。



当時小学4年生だったおふたりから、ひとりの女性として震災を振り返り、ご自身や地域、家族、友だちのそれぞれの様子や変化、減災や復興のために欠かせない視点や知恵、そして現在どのような希望を抱いて何に取り組んでいるのかなどをお話していただきます。

武山ひかるさん

しっかりと落ち着いた雰囲気を持つひかるさん。昨年8月には安倍総理に直接会って案内を務めるなど、精力的に活動しています。

震災当日、ひかるさんは母親とともに高台に避難しましたが、寒さに耐えかねて毛布を取りに自宅へ帰ろうとした際に津波に車ごと飲まれかけました。避難所生活では大変なこともたくさんありましたが、子どもなりに自分の役割を探すなどして過ごしました。8年が経過し将来の目標を持った今も「心の復興はまだ時間がかかる」と感じているそうです。



高橋さつきさん

震災で伝承が途絶えかけた伝統文化の獅子舞保存会でも中心となって活躍するさつきさん。当時は、大切な家族を津波で失い、何も考えられない日々を過ごしました。様々な想いと葛藤の中から、母親とお菓子作りをするのが好きだった自分を思い出し、今春からパティシエという夢に向かって歩み出しました。

いま、天国のご両親に「頑張って生きるね」と伝えたいというさつきさんの言葉に、大きな決意を感じます。



おだわら子ども防災

代表：みのわまり

東日本大震災を機に、母親の視点で防災を考える活動を開始。

NPO法人だっこおんぶの研究所主催「巨大地震から子どもを守る防災セミナー」に出会い、モノの原理を知り、自分自身の身体感覚と知恵を活かした備えこそ、自分と大切な家族を守るのに不可欠だと実感する。現在、子育て支援センターや子育てひろばなどでの防災座談会、保存食を考える会などを実施中。

ブログ：<https://blog.goo.ne.jp/odawarakodomobousai>

Facebook：<https://www.facebook.com/odawarakodomobousai>



←ブログ

Facebook→



■ 試して楽しい備えの知恵 (UMECO 夏休みボランティア体験学習)

- 日 時：8月25日(日) 13:00~15:00
- 会 場：UMECO 活動エリア
- 内 容：防災ゲーム「なまずの学校」/非常食試食&折り紙食器づくり/My 防災袋
- 参加費：無料
- 定 員：18名(託児なし 詳細はおだわら子ども防災までお問合せ下さい)
- 申 込：おだわら市民交流センターUMECO (電話 0465-24-6611) まで

■ 私たちの防災交流会@おだわら

- 日 時：10月18日(金) 10:30~12:30
- 会 場：UMECO 活動エリア
- 内 容：小田原市の防災状況(避難所、備蓄品、津波対策など)や、私たちひとりひとりの備え(非常持ち出し袋、避難ルート、家族連絡手段など)について、具体的な知恵を共有し、私たちにできることを一緒に考えましょう。
非常食の試食会も行います。味比べや作り方のコツ、紙で作る食器などにも挑戦!
- 参加費：無料
- 定 員：30名(託児なし 詳細はお問合せ下さい)
- 申 込：おだわら子ども防災(連絡先はオモテ面に記載)まで